

五戸総合病院での研修を終えて

令和3年5月研修医
青森市民病院 初期研修医 和田魁郎

私は令和3年5月の1か月間、地域医療研修として五戸総合病院の外科で研修をさせていただきました。外科自体は昨年1年時研修医の時に2か月間、青森市民病院にて研修した経験がありました。しかし五戸総合病院での外科研修では、自院では経験できないようなたくさんの方の経験させていただきました。

まず取り扱う疾患の幅広さに驚きました。消化器系疾患はもちろん、肺炎や脱水症等の内科的疾患や褥瘡や皮下腫瘍等の皮膚科的疾患も広く取り扱っていました。地方の病院の役割として、ジェネラリストのような形で幅広く医療にかかわることの重要性を身をもって体験することができました。

またたくさんの方の手技に参加させていただきました。上下部内視鏡検査では実際に内視鏡を操作させていただく機会があり、皮下腫瘍切除術やポート造設といった局所麻酔での手術は、執刀医として執刀させていただく機会もありました。手術に関しては、外科系志望の自分としてはとても貴重でためになる経験をさせていただきました。

その他地域医療研修としては訪問診療や小学校の健康診断にも参加させていただきました。訪問診療では実際に診察して施設の方の話も聞きながら、必要な薬を自分で調べて処方もさせていただきました。今まで意外に処方する機会がなかったこともあり、日常でよく使う薬の勉強になりました。また病院に来ることが難しい患者さんにとって、訪問診療が必要不可欠な役割だということを経験しました。

五戸総合病院での1か月間で、地域医療の実際とその課題について身を持って体感することができました。地方が抱える医師不足と少子高齢化の問題について、自分自身で考えるととても良い機会になりました。元々地域医療に貢献する医師を目指して、医師の道を志した自分の初心を思い出すことができました。

最後になりましたが、新型コロナウイルスの影響で急遽のお願いになったにも関わらず受け入れてくださった五戸総合病院の方々に感謝申し上げます。また外科研修として日々指導してくださった安藤先生、井上先生、後村先生及び他科の先生方、看護師さんや技師さん等スタッフの方々には大変お世話になりました。1ヶ月という短い期間ではありましたが、とても充実した研修をさせていただくことができました。本当にありがとうございました。